

2020年 第9号 ご挨拶

「KPMG グローバル CEO 調査 2020」が発表されました。6 回目となる今回は、コロナ前の 1～2 月に加えて、とコロナ後の 7～8 月にも追加調査が実施されました。COVID-19 が世界で最も影響力のある企業の経営幹部に与える影響を総合的に把握できる点が特徴で、CEO の戦略がどのように変化しているか、焦点がどのように変化しているか、そして世界経済の成長の見通しについての洞察を得ることができます。中国の CEO は自国の経済見通しに他国よりも大きな自信を示しています。コロナによる不確実性に直面している中国の CEO は、企業の成長のために将来の計画を立て、タレントリスク、サプライチェーンリスク、企業のデジタルトランスフォーメーションの課題に対処する準備ができています。成長著しい中国企業は、日本企業にとって大いなる競争相手になってきています。中国で起きていることを日本本社の経営陣に理解してもらい、日本企業が取るべき打ち手を遅れることなく的確にとっていけるよう、私たちは後押しし支援したいと考えています。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. KPMG グローバル CEO 調査 2020

中国の CEO の 4 分の 3 は、グローバル・サプライチェーンを再考すると述べています。変化する顧客ニーズへの対応をより俊敏にし、自然災害に対するサプライチェーンの回復力を高め、顧客との距離を縮めることが、サプライチェーン展開の最優先事項となっています。

デジタルトランスフォーメーションは中国国内のあらゆる産業に影響を与えており、特に金融、ヘルスケア、消費者、製造業の各部門が大きな影響を受けています。この流行に牽引されて、テクノロジー企業は成長の大きなチャンスを与えられてきました。予見可能な将来においても、企業はデジタルトランスフォーメーションを加速し、顧客のデジタル体験を向上させるために、ある種の革新的な課題に直面しています。デジタル経済の到来により、中国企業はデジタルビジネスの変革を加速させ、コアコンピタンスを継続的に向上させながら、より高い価値の変革を達成することが急務となっています。

コロナ発生以来、タレントリスクは CEO が懸念するリスクのトップに浮上しています。キーとなる人材の流出を防ぎ、専門の人材を集めることは、将来の業績に大きな影響を与える可能性があります。同時に、企業は、リモートワークのコンプライアンスを改善し、オフィス設備やリソースの可用性を確保し、効率的な従業員のコミュニケーションメカニズムを確立することで、長期的な持続可能性を実現するために、ターゲットを絞ったタレントマネジメント戦略と詳細な実行計画を策定する必要があります。

中国の CEO の 80%が将来のオフィススペースを縮小すると答えており、世界平均（69%）を上回っています。しかし同時に、中国の CEO の 85%が在宅勤務も企業の潜在的な人材プールを拡大していると答え、中国の CEO の 4 分の 3 がコロナ流行中に従業員とのコミュニケーションが改善されたと答えています。これは、企業が事業継続計画におけるデジタルの役割を高

め、従業員や事業運営を保護、訓練、保護するために、より柔軟な対策を講じる必要があることを意味します。また、生産性を高め、従業員の体験を向上させるために、従来の人事機能をデジタル化する必要があります。柔軟で弾力性のある労働力管理が不可欠です。

- > [全文はこちら](#) (中国語、WeChat 版)
- > [全文はこちら](#) (日本語)
- > [全文はこちら](#) (英語)
- > [全文はこちら](#) (中国語)

2. 製造業における新興・破壊的技術動向

Industry4.0 のコンセプトは登場して 10 年になり、グローバルレベルでは航空宇宙産業を筆頭に、各産業で導入が加速しつつあります。DX (デジタルトランスフォーメーション) の潮流も追い風となり、Industry4.0 を実現する新興・破壊的技術の有効性が高まっています。本レポートでは、Industry4.0 と DX に不可欠な 3D Printing、AR/VR、Robotics、Simulation、Product-Service System の主要な 5 つの技術について、技術概要と適用事例、浸透ドライバーおよび課題、近年の動向について解説します。

- > [全文はこちら](#) (日本語)

3. レジリエンスを高める～想定外に打ち勝つ組織づくりのために～

「レジリエンス」という言葉が企業経営にとってかつてないほどの重みを持っています。VUCA (Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性) というキーワードへの認知の広がりにもられるように、近年において、不確実性 (リスク) への企業の耐性、すなわちレジリエンス経営の重要性は高まりつつあったものが、今回の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大によって大きな経営上の潮流として決定づけられたともいえます。

- > [全文はこちら](#) (日本語)

4. 5G とエッジコンピューティングが創出する価値

5G の導入は COVID-19 以前から期待されてきましたが、現在はさらにその期待が高まっています。5G は主要産業において 4 兆 3,000 億米ドルの価値を創出すると推定され、多岐の業界にわたって企業の事業課題の解決、バリューチェーンの再構築、収益モデルの強化、経営の最適化をもたらします。そして、クラウドではなく、エッジにおける 5G とコンピューティングの連携は、革新的な価値創造の中核となり、5G の実装を成功させるために不可欠な要素となるでしょう。

- > [全文はこちら](#) (日本語)

5. 内部監査能力の強化

GRC (Governance, Risk, Compliance) のメリットを把握することで、内部監査プロセスを合理化します。企業は、規制要件の強化やテクノロジーの混乱の増加など、急速な変化に直面し続けています。それに伴い、リスク管理の水準も上昇し続けています。さらに、コンプライアンスチームは、組織の義務、実施された業務プロセス、および実施されているコントロールの包括的なリポジトリを作成することが求められています。多くの内部監査 (IA) 部門は数年前に監査計画モジュール、電子ワークペーパーソリューション、監査課題データベースを導入していましたが、最近の GRC システムの開発は IA のアプリケーションの成熟度を超えているかもしれません。内部監査のトップは、組織の GRC の進歩の恩恵をどのように受けられるかを自問自答しています。

- > [全文はこちら](#) (英語)

<ご参考> 新型コロナウイルス対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫”（中国語） [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights（英語） [資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響（KPMG ジャパンサイト） [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247)（日本語）